

第 1 回墨田区介護保険事業運営協議会 質問回答

質 問	説 明
<p>資料 5（介護保険事業の概要）について、①「6. 要介護（支援）認定者数の合計」と②「7. 介護サービス受給者数の合計」の人数に乖離があるが、なぜか。</p>	<p>①と②では調査時点で2か月のずれがある。様式について、①の数字を2か月前のものにし②と合わせる、あるいは①の2か月前の数字を併記するといった改善を考えたい。</p> <p>また、入院中に認定を受けた場合等、認定とサービス利用開始の時期が一致しないケースがあり、①と②の人数のずれの原因になっていると考えられる。さらに、住宅改修や福祉用具購入のみの方はサービス受給者数にカウントしていない。</p>
<p>要介護認定を受けてもサービスを利用していない人がどれだけいるのか。また、要介護認定を受けてもサービスを利用しない理由は何か。もしサービス利用料が高いから、ということであれば対応が必要と思うが、どうか。</p> <p>サービスをよく知らないため利用できない方もいるのではないか。</p>	<p>平成 28 年度に実施した墨田区在宅介護実態調査で、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況を聞いたところ、「利用していない」と回答した方は 27.6%で、要介護度別にみると、要支援 1・2 の方が 37.8%、要介護 1・2 の方が 24.5%、要介護 3・4・5 の方が 12.4% となっている。</p> <p>また、介護保険サービスを利用していない理由としては、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 43.1%、「家族が介護するため必要ない」が 18.6%、「本人にサービス利用の希望がない」が 18.1% となっている。</p> <p>なお、「サービスを受けたいが、手続きや利用方法がわからない」と回答した方が 5.9% となっているが、判定結果を通知する際に、サービス利用にあたっての案内を同封しており、今後も利用促進に向けた取組に努めていきたいと考えている。</p>
<p>墨田区におけるサービス受給者は、被保険者の 6.7%であり、全国平均の 7.2%と比較し低い。その理由は何か。</p>	<p>全国と墨田区を人口構成で比較した場合、40 歳以上の人口割合では、墨田区は全国より 5.4%低く、また、高齢者層を見た場合、80 歳以上の割合が墨田区は低くなっている（資料 2 参照）。そのことが介護サービス受給に関わっていると考えられる。</p>
<p>アンケート調査を行い意見を集約したとのことだが、どのように計画に反映したか。</p> <p>調査結果をどういう形で計画に反映させているのか実感できない部分がある。道筋を立てて説明していただきたい。</p>	<p>資料 3 のとおり</p>
<p>地域共生社会の考え方を踏まえて、地域福祉計画を改定することはあるのか。</p>	<p>地域福祉計画の所管は厚生課になっており、障害者行動計画、障害福祉計画、障害児福祉計画、次世代育成支援行動計画、子ども・子育て支援事業計画の、各計画の進捗管理・調整を行っている。</p> <p>なお、現在の計画は、平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 年間の計画期間であるため、次の改定時期に今回の制度改正を踏まえた形で国の指針が示され、改定が行われるものと考えている。</p>